

—あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ—



2023

第75号

5月1日

とめ 市議会だより



津山杉のように真直ぐに ～津山小学校開校～

目次

2月定期議会	2
予算審査特別委員会	4
常任委員会報告	9
代表質問	12
一般質問	14

予算審査特別委員会

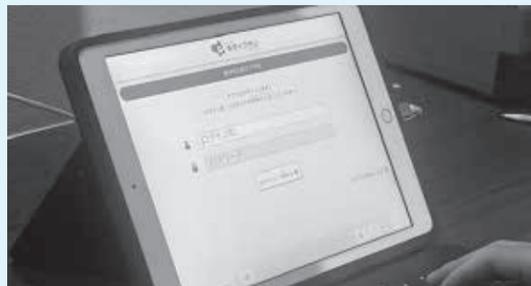
2月定期議会に上程された5年度当初予算に対し、予算審査特別委員会を設置し、審査しました。
委員長には須藤幸喜議員、副委員長には熊谷和弘議員を選任し、5年度一般会計のほか、5特別会計と4企業会計の予算を審査しました。

前年度より約10億円増 総額824億円を審査



委員長 須藤幸喜

教育



問 教育用コンピューターの更新に要する経費、8443万円の内訳は。
答 デジタル教科書などソフトウェアの更新と、校務用パソコンの購入費用である。ソフトは毎年更新され、機種が古くなれば新しくする必要があり、今後も続く計画である。
問 けやき教室などの運営に要する経費に送迎サポートは含まれているのか。
答 現在、送迎サポートは行っていない。他地域の取組などを調査して検討する。

産業



問 スマート農業等推進事業費を減額した理由は。
答 5年度はコロナ対策基金を充てず単独財源で事業を進めるため減額したが、補助率や上限額を見直し普及拡大に取り組む。
問 コロナの感染症法上の位置づけが引き下げられることから、商工業の活性化に舵を切るべきではないか。
答 コロナ支援も新たなステージに入る。事業者へどういった支援をするのかがいいか、国の動向も見極めながら取組んでいく。

まちづくり



問 市民バスの具体的な増客対策は。
答 5年度にダイヤ改正を予定している。回送便の活用による増便、重複路線などの効率化、高速バスとの連携、隣接自治体や鉄道系統への接続の見直し、高校生の利便性向上などを図る。
問 市民や市職員による公共交通利用の拡大を図るべきではないか。
答 近隣自治体では、地域交通を市民全体で守る観点からさまざまな取組が行われており、参考にしていく。

歳入



問 市税収入が昨年より増額されているが、要因は何か。
答 固定資産税の増が大きい。新築住宅を含め360棟ほど、建物が増えており、これに伴う税収増を1億3700万円ほど見込んでいる。
問 個人市民税が減少する理由として大きいものは何か。
答 人口減少よりも、所得減少の影響が大きい。

特別会計・企業会計



問 国民健康保険特別会計
問 他会計及び基金繰入金が増えているが、その考え方は。
答 一般会計からの繰入はすべて基準内である。4年度の所得減少で、国保税の大幅な減収が見込まれ、基金繰入金が増加した。
問 下水道事業会計
問 迫町大東地区の雨水排水路築造工事は6年度に完成するのか。
答 函渠工事は94.5%進んでおり、5年度に残分と側溝を施工。県の長沼川放水路整備とともに6年度完成予定である。

生活環境



問 5年度新規の脱炭素チャレンジ事業の内容は。
答 市内全世帯を対象に、7月から9月までの3か月間で、前年同期の電気・ガス・水道使用量を比較する。
問 製品プラスチック回収リサイクル実証事業の検証は、どのようにおこなうのか。
答 各町域から1地区を選び、プラスチック製のハンガー、衣装ケース、バケツなどを回収し、中間処理した上でリサイクルできるか検証し、市全域での量を推測する。

消防・防災



問 防火水槽には、フェンスが壊れている、蓋が外れているなど危険な箇所があるが。
答 無蓋防火水槽は、全てフェンスを回してある。また、年2回の水利点検でフェンスの破損状況を確認し、修繕している。
問 同じ地区内で消防団が分かれているところがある。統合できないか。
答 現在、全国的に消防団員の減少が顕著になっており、本市も例外ではない。消防本部では、消防団員の定数などを含め、班、分団の統合協議を進めているところである。

子育て



問 体調不良児対応型児童保育事業が盛り込まれなかった理由は何か。
答 3施設で実施してきたが、スタッフの充実など条件がそろわなくなったことから終了とした。
問 保育料負担金が増額になった理由は何か。
答 保育料は、3歳以上児は無料、3歳未満児は有料である。5年度の3歳未満児施設利用定員が全体で10名増加したことに伴い、予算が増額となった。

議員発議

「インボイス制度の廃止を求める意見書」を国に提出

提出者 佐々木好博 議員

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛や、相次いで出された行動制限は、国内経済に大きな影響を及ぼしている。さらに、現在は不安定な世界情勢による輸入品の不足と円安による物価高に歯止めがかからず、原材料や原油価格の高騰が追い討ちをかけるように国内経済を疲弊させている。

国内経済はコロナ禍以前から続くデフレ状況から脱しておらず、令和5年10月1日から実施される「インボイス制度」によって、疲弊する国内経済にさらなる打撃を与える恐れがある。

インボイス制度の導入は、これまで課税対象とされていなかった年間課税売上高1000万円以下の中小企業者や個人事業主、フリーランスなどへの負担増が避けられず、特に地方経済へ与える影響は大きく、地方自治体の財政を圧迫させることになりかねない。

また、消費税は可処分所得の少ない国民の負担が大きく、平等性が損なわれている側面があり、今回のインボイス制度の実施は、さらに事業者への公平性も損ねる可能性が大きい。

よって、本市議会は、多くの中小企業者等の事業継続とその家族の生活を守る観点から、インボイス制度の廃止を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月10日

登米市議会議長 関孝

提出先

- 衆議院議長 細田博之 殿
- 参議院議長 尾辻秀久 殿
- 内閣総理大臣 岸田文雄 殿
- 経済産業大臣 西村康稔 殿
- 財務大臣 鈴木俊一 殿

議会運営委員会

大阪府 八尾市議会

常任委員会単位で分科会設置

八尾市議会では、もともと4つの常任委員会に加え、新たに5番目となる予算決算常任委員会を設置している。議長を除く全議員で構成され、付託を受けた予算(当初・補正)決算などの審査を全体会と分科会で行う。議事運営については、全体の会議日程を決める議会運営委員会とは別に、会派代表者で構成される「理事會」が設けられ審査日程が協議される。送付された議案の質疑を分科会で行い、その後、各会派は会派内における事前・事後協議から議案の可否を決め、理事會に持ち寄り、採決は全体会でとられる。この流れ一つとつても、本市議会における委員会中心主義への移行に向け、クリアすべきハードルが高いと思われる内容であった。

今後、本市における委員会付託の在り方や会派内協議、運営上のさまざまな課題について、改めて調査・研究の必要性を感じる視察となった。

愛知県 岩倉市議会

議会基本条例の検証について

議会基本条例検証特別委員会を設置し推進チームを結成している岩倉市議会では、毎年条例の達成状況を検証している。評価はもちろん、年度毎の過去の取組実績を明記し、具体的に議会としてどのような行動をして成果を挙げたかなど「見える化」している。更には、課題の整理と今後の取組が評論ではなく自分事として記載されているなど、議会が目指す方向と姿勢がはっきりと理解できる検証となっていた。

議会ふれあいトーク、議会サポーター、議会傍聴の考え方、議会だよりのクリニックなど議会主体の取組は参考になるものであった。議会において議員全員の一致でなければ政策提言しないなど「チーム岩倉市議会」として活動している点も特筆すべきことであろう。

1月23日～24日



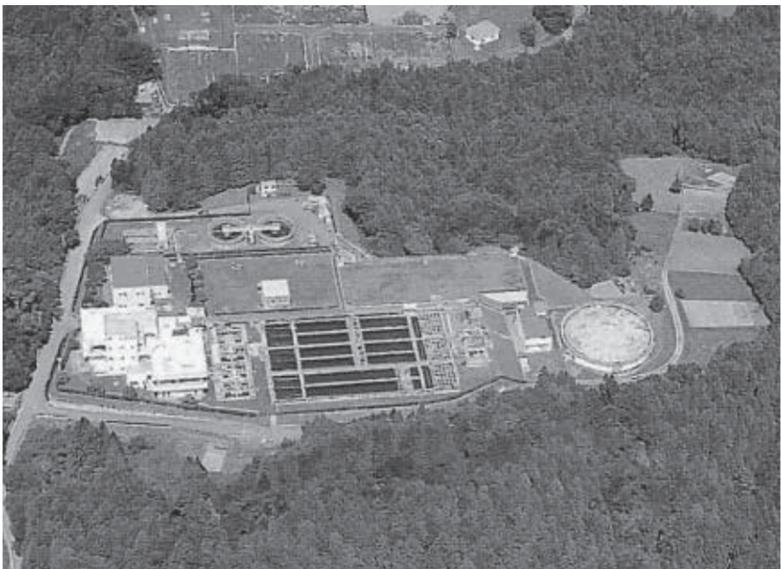
八尾市議会視察の様子



岩倉市議会視察の様子

総務企画常任委員会

上下水道料金の改定に関する調査を実施



再構築事業が予定されている保呂羽浄水場

水道料金等に関する検討状況について

(5年1月26日調査) 上下水道の料金等改定については、複数回にわたり調査を行ってきた。

今回「登米市水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会」、「登米市上下水道事業運営審議会」が市長に提出した報告書、答申書が示された。報告書、答申書では、水道・下水道とも料金の見直しが必要とされ、料金算定期間および改定率も妥当であるとの見解であった。

上下水道事業を取り巻く環境は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設などの更新による事業費の増大で、厳しい状況が続くと見込まれる。

しかし、市民生活や地域経済は、新型コロナウイルス感染症の影響や、ロシアによるウクライナ侵攻に起因する物価高騰などにより、大きな打撃を受けている状況であり、市民にとってはさらなる負担を強いることとなることから、各委員からさまざまな意見が述べられた。

水道事業は、平成29年度に策定した経営戦略では当初、4年度に23%程度の料金改定が必要とされた。また、下水道事業は、消費税率の改定に伴う改定以外は行わず、一般会計からの繰出で事業を運営してきた。

今回の料金等改定は、将来的な負担や社会情勢の現状などを勘案し、必要最小限の改定額に抑えたとのことだった。

上下水道は市民生活に欠くことのできない重要なライフラインであることから、安定した経営に向け、経費削減や効率的経営に努力されたい。



水道事業キャラクター

ジョーくん 水守(みもる)さん スイちゃん

施設使用料等の見直し方針(案)について

(12月13日調査) 本市の施設使用料については、平成18年度に見直しを行って以来、据え置きとなっている。1時間当たりの使用料が設定されているものが見直しの対象となっており、公民館条例など、26条例85施設354区分に及ぶ。独自の単価や使用料の算定方法となっているものは、各部署において見直しを検討する。

施設利用者には、施設の維持管理などに要する費用の一部を負担していただくことは、住民相互間の負担の公平を期する上でも必要と考える。応益原則に従った体制の確立を期待したい。

その他の調査項目

陳情・要望について

(12月2日)

第二次登米市地域公共交通再編計画(案)について

(12月13日)

教育民生常任委員会

新図書館構想に向けて



図書館構想についての意見交換会

教育委員会教育委員との意見交換会

(12月21日)

教育委員会では、図書館構想の見直しにあたり、これまで市民・利用者等を対象にアンケート調査や講演会、ワークショップも実施している。今回は、教育委員と教育民生常任委員会委員がそれぞれ思い描く「図書館のコンセプト」について共有するため意見交換会を実施した。

教育委員会では、図書館構想の見直しにあたり、これまで市民・利用者等を対象にアンケート調査や講演会、ワークショップも実施している。今回は、教育委員と教育民生常任委員会委員がそれぞれ思い描く「図書館のコンセプト」について共有するため意見交換会を実施した。

教育委員会では、図書館構想の見直しにあたり、これまで市民・利用者等を対象にアンケート調査や講演会、ワークショップも実施している。今回は、教育委員と教育民生常任委員会委員がそれぞれ思い描く「図書館のコンセプト」について共有するため意見交換会を実施した。

その他の調査項目

「不登校児童生徒徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める要望書について

(12月13日)

新図書館の整備は、本市が掲げる立地適正化計画の中での位置付けであるが、教育委員会として、教育振興計画や図書館構想、子供読書活動推進計画など各種計画との整合性を図りながら、「市民と共につくり、共に運営する図書館」にしていくために、部局横断で進められたい。

当委員会としては、市民が望む図書館づくりのため、課題や問題を整理し、早期建設に向けて継続して調査することとした。

5年から8年の経費の合計は、9億1676万円になるが、現行の手数料収入では4年間で4億2546万円の不

産業建設常任委員会

道の駅実態調査2 「現地調査」



歩くと段差が生じる木製通路（もくもくランド）

市内各道の駅の現状把握

(12月20日)

前回11月21日に実施した道の駅長との意見交換に続き、各道の駅の状況を把握するため現地調査を実施した。

・林林館 (東和町)

12角形の形状が特徴の建物で、現在は主に地域住民の活動・交流の場として利用されている。築30年以上が経過しており、外部柱脚部の腐食、木製建具など建付けにも不具合が生じている。

・三滝堂 (東和町)

平日から多くの客でにぎわっていた。駐車場の不足、店舗内の売り場スペース不足など、企業努力だけでは改善できない課題を抱えている。

・もへもへランド (津山町)

災害から3年間の復旧工事を終えた。リニューアルにより、駐車場から施設に直接アクセスできる通路やオープンデッキを新たに備えた。公園を兼ね備えた敷地の広さも魅力の一つであるが、敷地内の屋外トイレや通路などに不具合が散見された。

ふる里センターY・Y

(米山町)

開業から20年以上が経過していることから、設備の老朽化が課題である。運営では、イベントを再開し、集客回復に向けた取組を進めている。

・もつりの里 (南方町)

環境保全型農業の情報発信と消費者との交流促進を目的に開業し、バイキング形式による食事も提供している。開業から18年が経過していることもあり、老朽化による雨漏りやNPO法人の会員の高齢化などが課題である。

各道の駅は、3年に及ぶコロナ禍により大きな経済的打撃を受けてきたが、駅長を中心に懸命な営業努力が実を結び集客などに回復の兆しが見えてきた。観光拠点でもある道の駅を、本市として今後どのように位置づけていくかなど、単に道の駅という視点だけでなく、地域活性化のために重要な役割を担う施設として捉え、各道の駅と共に本市の将来像を明確にしていくことも必要と考える。

災害復旧状況と水害対策に係る現地調査

(12月13日)

4年7月の大雨による津山町内市道などの災害復旧事業及び同大雨により稲が枯死状態となった、蕪栗沼遊水池における当時の対応状況と周辺河川の管理状況について現地調査を実施した。

蕪栗沼には4地区の遊水池が整備されているが、完成から12年が経過しており、土砂堆積や立木が繁茂するなど、遊水池としての機能が低下している可能性がある。

現在、県では周辺河川の立木を順次撤去しているが、蕪栗沼についてはラムサール条約との関係もあることから、まずは土砂の堆積状況測量を行うとの意向を確認した。



県担当者からの説明風景

問 大丈夫か、沢山の施設整備計画

答 新市建設・財政計画見直しに着手



大地の会
中澤 宏 議員



問 市長は、中心市街地に、まちづくりの核と位置付ける公民館、図書館などの市民交流機能や行政機能を含めた多機能型複合施設の整備を目指し、賑わいの創出を図る考えを示されたが、統合学校の建設、市民病院の新築移転、米山地区における公共施設の複合化という大型プロジェクトも同時に掲げており、厳しい財政事情で大丈夫なのか、早期に新市建設計画、財政計画を示されたい。

答 厳しい財政状況が続く中での見直しとなるが、いま一度、市全体の事業を総点検し、今の時代に生きる私たちが責任を持って実施しなければならぬ真に必要な事業に積極的に取り組む。持続可能で、未来につながるまちづくりとなるよう新市建設計画、財政計画の見直しに着手する。

問 見送りや改定幅の更なる緩和の検討はないのか。

答 物価高騰がいつまで続くのかその判断が非常に困難であり、市民の生活や市内経済は大変厳しい状況と認識しているが、上下水道事業の責務は、サービスを持続かつ安定的に提供することで市民生活の安定を図るものと考えている。その対応である料金などの改定を行うものである。

問 (仮称) 地域交流センターとは

答 多機能型の複合施設である



太陽・みらい21
氏家 英人 議員



問 現在策定中の立地適正化計画と(仮称)地域交流センター、新図書館等との関係性は。

答 立地適正化計画にある誘導施設を設定するにあたり、(仮称)地域交流センターや図書館なども中心市街地の活性化に必要な都市機能として整理しており、にぎわい創出に向け進める。

問 もうすぐ合併20年の節目を迎えるが、平成の大合併についてどう考えているのか改めて問う。

答 頻発する災害や少子高齢化、厳しい財政運営などの課題に直面しているが、各町単独での対応には限界がある。登米地域一丸となった対応が必要とされることから、合併は必要不可欠であったと捉えている。

問 「安心・安全なまちづくり」において、公共交通のより柔軟な運営手法とは。

答 デマンド型乗合タクシーの利用促進と導入地区の拡大に向け、複数のコミュニティ組織が共同で運営できる制度への見直しや、デジタル技術を活用した予約システム導入の検討を進める。

問 「オンライン子育て相談サービス」の具体的な内容は。

答 ZOOMを活用し、メールで予約する。保健師・栄養士などが対面で相談し、必要な支援につなげる。

問 市政運営7つの重点施策について

答 創造性をもった議論を進めていく



なくすとTome
遠藤真理子 議員



問 「安心・安全なまちづくり」において、公共交通のより柔軟な運営手法とは。

問 「オンライン子育て相談サービス」の具体的な内容は。

答 デマンド型乗合タクシーの利用促進と導入地区の拡大に向け、複数のコミュニティ組織が共同で運営できる制度への見直しや、デジタル技術を活用した予約システム導入の検討を進める。

問 各店舗が抱える経営課題に取組ながら、経営

問 ヤングケアラーの早期把握の方法は。

答 これまで認知度向上と関係機関の連携強化を進めて、各分野の役割を確認した。それぞれのネットワークを生かし、支援体制の強化を図る。

その他の質問

- ・教育振興について
- ・地域医療の充実について
- ・効率的な行財政運営について

問 施政方針について伺う

答 総合計画推進の予算編成



日本共産党市議団
鈴木 実 議員



問 ウクライナ侵攻による本市への影響と、それはいつまで続くかと想定された施政方針なのか。

問 具体的な対策は何か。

答 光熱費、中でも電気料金の高騰は維持管理費に大きく影響し、大変厳しい状況で、この影響がいつまで続くのか、見通しは大変困難である。引き続き情勢を注視していく。

問 2類相当から5類へ移行された場合、一般の医療機関でも入院患者を受け入れることになる。医療費の自己負担については今後決定される。なお、医療機関によっては、診察が難しくなることや、治療費が公費で負担されない場合は、感染者が検査や治療を受けないことや懸念している。国、県の動向を注視し適切な対策を講じ、県保健所や医師会などと連携を

問 地方分権の立場から一定の電力供給体制を確保する思いはないか。

答 社会インフラである電力の安定的な供給と電気料金の抑制は、国が直接主体的に取組むべきものと考えている。

その他の質問

- ・5年度予算編成の目玉は
- ・稲作農家の経営安定施策は
- ・インボイス制度について

定期議会

特別委員会

常任委員会

代表質問

一般質問

市民メッセージ

問 子どもが笑顔で通える学校作りは

答 行きたくなくなる学校を作っていく



佐藤千賀子 議員

問 義務教育の9年間は、ふるさとである本市について考える期間でもあると考える。

答 また、子どもにとって、学校の仲間はとても大切

なものであり、学校で楽しい生活を送れば、市外の大学や専門学校などを卒業した後、再び本市に帰ってこようという気持ちになるものと考えます。

そこで、不登校の原因の一つは、いじめであると考えるが、いじめの問題が起きたときは、どのように対応しているか。

答 各校において、いじめに関する情報を得た場



市内の小学校

合は、子どもの気持ちに寄り添い、その子どもを守ることを第一に考えて話を聞いている。

その上で校内いじめ対策委員会などで状況確認を行い、子ども同士の関わりや改善に向け、教育委員会と学校が連携して組織的に対応している。

問 登米市けやき教室（さくらの木）について、学校での立場の弱い子どもを通所させるための施設になっていないか。

答 居場所を作っているのであって、人との関わりを持たないようにする施設ではない。

さくらの木に居場所を求めて通える子どももおり、そういう子どもに寄り添いながら自立に向けてしっかりサポートしていく。



問 行政にドローンを活用する考えは

答 令和5年度当初予算に計上した



岩淵正弘 議員

問 ドローンは空に産業革命をもたらすと期待されている。災害対策などに活用する考えは。

答 防災分野はもとより、まちの情報発信や公共施設の調査点検、環境保全や農林業関連、空き家調査など、様々な分野の業務にドローンを活用することを検討していきたい。

活用に向けた関連予算については、5年度当初予算に計上している。

問 4年12月5日には、レベル4飛行が可能になる新制度が開始されるなど、活用範囲が拡大している。操縦者の確保についての考えは。



空の産業革命ドローン

答 民間事業者から操縦者を派遣してもらう協定をはじめ、職員による自主運用も視野に入れ、各分野において効果的な活用が図れるよう調査研究していく。

保呂羽浄水場の再構築について

問 長期間の工事となり、建設資機材高騰の影響を受けることが想定されるが、予定予算内での

完成は可能と考えるか。

答 影響は避けられないものと認識している。賃金または物価の変動による請負代金額の変更について、優先交渉権者からの申入れがあれば、契約条項に基づき、協議の上、対応していく。



※レベル4…飛行有人地帯での目視外飛行

問 必要な人に支援が届く窓口を

答 誰一人取り残さない体制が課題



永島順子 議員

問 豊里こども園事件の加害者は、中学時代にいじめを受けたことが心的外傷となり、孤立感を深め、人生に絶望したまま犯行に及んだとのこと

ある。犯行に至るまで、支援が届くことはなく、セーフティネットが機能しなかったことについてどう考えるのか。

答 この事件は非常に不幸な事件であり、誰一人取り残さない体制をどうつくっていくかは大きな課題と捉えている。本人や家族が訴える体制が取れていなかったのかもしれない、社会福祉協議会や

民生委員・児童委員、区長などの意見をしっかりと集約して、体制をつくるべきと考えている。

問 困難を抱えた人、誰もが相談できる包括的な相談窓口を整備するべきと考えるがどうか。

答 他自治体の取組などを参考にし、バージョンアップを図っていく必要があると捉えている。

学校給食センターの方向性について

問 再編整備においては、施設の集約による効率化、低コスト化のみを優先させるべきではなく、地産地消、安心・安全な食材を増やし、食育にも力を入れるべきではないか。

答 施設の適正規模、適正配置を図り、安全・安心な給食提供体制の確立を最優先に考え、検討を進める。



問 貸借対照表上の類似団体比較を

答 有効な指標の一つと考える



曾根充敏 議員

問 自治体が公表している公会計情報を基に、本市と都市型分類を同じくする他11市との行政比較を行った。

本市の負債対純資産の比は1対1.12であり他市平均が2.48であることからすると、本市の資産形成が他市と比べ、将来世代の負担に大きく依存していることが判る。

負債対純資産比に将来目標が必要ではないか。

答 負債のうち地方債残高が89%を占めている。負債対純資産比を改善するには地方債残高の縮減と老朽化施設の除却が必要だ。

一般会計等貸借対照表		令和3年3月31日現在	
登米市の姿	負債の部 (551億円)	将来世代の負担 これから払うお金	1.12
	資産の部 (1242億円)	純資産の部 これまでの世代の負担 払ったお金	1.12
同類他市平均の姿	負債の部 (1177億円)	将来世代の負担 これから払うお金	2.48
	資産の部 (1177億円)	純資産の部 これまでの世代の負担 払ったお金	2.48

貸借対照表を比べると、登米市の将来世代の負担は他市の倍以上



問 減価償却累計額の大さは建物の老朽度を示す。建物除却をさらに進めるべきではないか。

答 長期的視点をもって施設更新などを行い、将来の財政負担の軽減・平準化を図る必要がある。

その他の質問項目

・学校再編構想における方針と現実の乖離

公会計を使った目標値

定期議会

特別委員会

常任委員会

代表質問

一般質問

市民メッセージ

問 人口減少に歯止めを!

答 様々な角度から検討したい



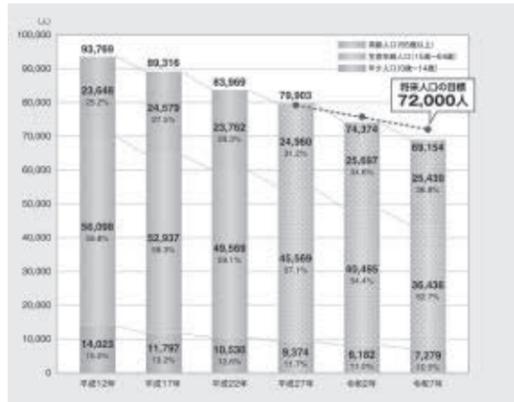
熊谷康信 議員

問 人口減少対策について
子育て支援でさまざまな施策を講じているが、基本となる産科の整備を考えられないか。

答 市立病院への整備は

リスクが伴うため難しい。開業医の方を何とか招聘したい。
問 産業振興の活性化を講じていくことで移住・定住が図られると考える。

国で掲げた「みどり戦略」のもと、本市農業の活性化につながる取組として、本市を日本の食料基地とする考えはどうか。
答 環境保全米、仙台牛



登米市の人口の推移と将来人口の推計 (第二次登米市総合計画より)

問 市内小学校再編計画前期計画で予定していた南方地域がようやく実施計画に掲げられた。現在どのような構想を持っているのか。
答 学校再編準備委員会の総意として、校舎の新設を検討してほしいとの意見をいただいた。
問 高度教育環境や特色ある学び舎の整備、誘致は、人口減少対策の観点から、大きな期待を持っている取組と考えるか。
答 可能性を探るといいうことは確かに必要だと思うので、勉強していく。



問 公共施設の駐車場の点検・整備を

答 調査・点検を実施し、取組む



熊谷和弘 議員

問 2回目の一般質問となる。現状として、安全に安心して駐車できる環境が整いつつあると感じているが、まったく変わっていない公共施設も少なくない。

具体例をあげると、豊里病院は、現在も車いす専用駐車場が1台のみである。さらに、車いす専用駐車場から病院の玄関までの車いす専用スロープがない。みやぎの明治村観光駐車場は、合併前の交通公園になっていないため「駐車位置を表すラインがなく、どのようになっているのか」の声を届けている。



みやぎの明治村 観光駐車場 (交通公園にもなっている)

これら以外についても点検を実施し、整備及び改善を推進すべきと考えるが。
答 豊里病院については、正面玄関近くに思いやり駐車スペースを早急に確保する。車いす専用スロープについては、敷地的な問題もあり、設置はできないが、段差の解消など車寄せスロープを安全に利用して頂けるよう対応する。みやぎの明

治村観光駐車場については、交通公園としての機能を維持しながら観光駐車場としての利便性を高める取組を検討し、必要な対策を講じる。
その他についても調査・点検を実施し、必要な取組を実施する。
その他の質問
・補聴器購入に助成を



問 学校給食費無償化の検討を早急に

答 自治体間格差解消の要望を継続する



須藤幸喜 議員

問 「給食費無償化は検討した」とのことであるが、どのような検討内容であったのか。
答 約2億5千万円の財源が必要であるが、新た

な安定した財源が必要であり、現時点では見つからない。
問 本当に実施したいという気持ちでの検討か。
答 他自治体で実施することは承知しており、本市もその思いを持ちながら検討を行っている。

問 財政担当部署は、教育委員会とこの問題について話合ったのか。
答 直接的な話し合いは



行っていない。
問 教育委員会だけの判断で財源問題を持ち出し、検討したとするのか。
答 本市は本市として、今出来ることをする。当然、給食費無償化の検討を今後も続けることは、教育委員会も市長部局も同じ認識だと思っ

問 自治体間格差が大きくなることを危惧するが、今後も給食費無償化を実現する検討は行っているのか。
答 義務教育の中で自治体間格差が出ることは良くない。県市長会と一致した行動をとり、給食費無償化と18歳までの医療費無償化は、国で行うよう、要望活動を行う。

他の質問事項
・コロナ患者への市立病院の対応について

問 本議会事務局の拡充、強化策は

答 議会改革に資するよう進めていく



首藤忠則 議員

問 議会改革を進めていく上で、議会事務局職員の専門性や知識の取得がますます必要となる。職員の増員および職員研修の充実・強化策は。
答 職員については定員



議会事務局

適正化計画に基づき、合併当時の職員数1272人のところ、本年度815人とした。削減数は457人で、35.9%の削減率となった。しかし、議会事務局については、

では、階層別研修の受講や市町村職員中央研修所へ派遣し、議会事務に特化した専門研修を受講している。
随意契約について

議会事務局の導入などに対応するため、小規模な減少にとどめ、市長部局の3名を併任させるなど出来る限りの配慮をしている。また、職員研修につ

問 本市の普通財産のうち、随意契約による個人への貸付不動産物件の数は。
答 3年度末で54件。
問 本市財産貸付などによる収入増加額および維

持管理費の縮減額は。
答 収入増は3年度で約4000万円。維持管理費は縮減額の積み上げ額を示すことは困難。
問 旧東和町相川分教場の貸付期間が満了した場合、契約更新は行われるのか。
答 借家人は契約上の義務を果たしており、更新申請があれば更新する。



子ども・子育て事業優先

問庁舎建設はどつする

答議会と協議し、新築を目指す



田口政信 議員

問 合併協議会の場で、「庁舎建設については、新市において検討する」として以来、18年が経過している。建設の方向が見えない中で、分庁舎方

式を継続し、本来に建設は考えていないのか。
答 現在の庁舎は、施設の老朽化、分散、狭隘化などにより、市民サービスや事務効率の低下などの課題があり、行政機能の集約化が必要と考えている。このため、(仮称)地域交流センターに行政機能を付帯させ、多機能型複合施設として整備していく。



多機能型複合施設、今後協議

問 複合施設は、第2庁舎機能なのか、本体は新築なのか、改築なのか明確にできないのか。
答 (政策推進監) 考え方はすれば新築である。市長にも確認する。
問 推進監が答えた答弁と相違ありません。
答 それでいいですね。
問 合併特例債の適用期限が12年までであるが、意識する必要はないのか。
答 学校再編に伴う整備、中心拠点施設の再編など大型ハード事業のため合併特例債を最大限活用していく。



定期議会

特別委員会

常任委員会

代表質問

一般質問

市民メッセージ

問本市のスポーツ事業への支援は

答教育文化振興補助金として支援



日下 俊 議員

問 中学生の大会などへの支援はどの程度しているのか。
答 市のバスと民間バスで315台運行し、経費については1600万円ほどの支出をしている。



地域スポーツクラブの活用を

問 今年度から3年かけて、中学校の休日部活動が外部委託になる。費用や保険・資格など多くの課題があるが方向性は。
答 協議会を立ち上げ、様々な課題の整理について時間をかけて関係団体と意見を出し合い進める。
問 この地域移行は誰がリードしていくのか。
答 教育委員会がリードすべきではないかと思う。

問 今年度から3年かけて、中学校の休日部活動が外部委託になる。費用や保険・資格など多くの課題があるが方向性は。
答 協議会を立ち上げ、様々な課題の整理について時間をかけて関係団体と意見を出し合い進める。
問 5年度の全国中学校体育大会から全ての競技で参加できるよう決定され、参加可能である。
問 各町にスポーツクラブがあるが外部委託の受け皿となるのではないのか。
答 非常に重要な受け皿と考えており、各団体と協議し移行できるように行う。



問要支援者マニュアルの具体的支援を

答支援方法など周知・啓発していく



工藤淳子 議員

問 「避難行動要支援者マニュアル」が作成されているが、要支援者に対し、誰が、どのように支援するのが具体的にない。地域の防災

組織の中でも、災害時などのように支援するの議論されていない。5年度の見直しで具体的に明記する必要があるのでは。
答 改正したマニュアルは、行政区长、自主防災組織、民生委員など地域の避難関係者へ配布するとともに、支援方法や災害への備えなど周知・啓発を行っていく。



問米山相撲場の整備について

答利用団体の意見参考にし修繕行う



武田節夫 議員

問 郷土が産んだ名力士、第3代横綱丸山権太左衛門の顕彰と相撲の普及、発展を図るため、平成19年に米山町相撲協会が青少年の健全育成と生涯スポーツの推進を目的に相撲場を設置したが、老朽化が進み整備する必要がある。県内の高校の各種大会が行われていることもあり、県の施設とすることもあり、

属し活躍している。市として相撲場の整備についてクラウドファンディングに取組む必要があると思うが。
答 今後大規模な改修が必要なときは、クラウドファンディングの活用も検討し、適切な維持管理に努めていく。



第3代横綱丸山権太左衛門



米山相撲場



5年度見直しが予定されている、避難行動要支援者支援マニュアル

問 助成を行う自治体が広がっている。山形市では聴力検査が実施されるようになった。本市で助成と合わせてできないか。
答 国の動向や他市の動向を注視していく。「健康診断」での「聴力検査」は、聴力検査を実施している検診機関がないので難しい。

問 宮城県出身の力士7人のうち登米、栗原出身が3人、呼出しの方が地元出身で時津風部屋に所

飼料価格高騰緊急対策について
問 ウクライナ情勢に伴

う穀物価格の上昇などにより、畜産農家は経営危機に追い込まれている。市として生産者に対し、独自の補助金を出すとともに、自給率向上のため、子実用とうもろこし栽培を進めるべきと思うが。
答 本年1月から飼料価格高騰支援事業を実施している。子実用とうもろこし栽培は農協と連携し重視する。

問庁舎建設はどつする

答議会と協議し、新築を目指す



田口政信 議員

問 合併協議会の場で、「庁舎建設については、新市において検討する」として以来、18年が経過している。建設の方向が見えない中で、分庁舎方

式を継続し、本来に建設は考えていないのか。
答 現在の庁舎は、施設の老朽化、分散、狭隘化などにより、市民サービスや事務効率の低下などの課題があり、行政機能の集約化が必要と考えている。このため、(仮称)地域交流センターに行政機能を付帯させ、多機能型複合施設として整備していく。



多機能型複合施設、今後協議

問 複合施設は、第2庁舎機能なのか、本体は新築なのか、改築なのか明確にできないのか。
答 (政策推進監) 考え方はすれば新築である。市長にも確認する。それでいいですね。
問 推進監が答えた答弁と相違ありません。
答 合併特例債の適用期限が12年までであるが、意識する必要はないのか。
問 学校再編に伴う整備、中心拠点施設の再編など大型ハード事業のため合併特例債を最大限活用していく。
問 立地適正化計画、中心市街地構想の中での庁舎の位置づけは。
答 市政全般の行政拠点で、行政と市民の共同の場などの役割を担う意味でも都市機能誘導施設として整備する必要があるのである。



定期議会

特別委員会

常任委員会

代表質問

一般質問

市民メッセージ

問本市のスポーツ事業への支援は

答教育文化振興補助金として支援



日下 俊 議員

問 中学生の大会などへの支援はどの程度しているのか。
答 市のバスと民間バスで315台運行し、経費については1600万円ほどの支出をしている。



地域スポーツクラブの活用を

問 今年度から3年かけて、中学校の休日部活動が外部委託になる。費用や保険・資格など多くの課題があるが方向性は。
答 協議会を立ち上げ、様々な課題の整理について時間をかけて関係団体と意見を出し合い進める。
問 この地域移行は誰がリードしていくのか。
答 教育委員会がリードすべきではないかと思う

問 今年度から3年かけて、中学校の休日部活動が外部委託になる。費用や保険・資格など多くの課題があるが方向性は。
答 協議会を立ち上げ、様々な課題の整理について時間をかけて関係団体と意見を出し合い進める。
問 5年度の全国中学校体育大会から全ての競技で参加できるよう決定され、参加可能である。
問 各町にスポーツクラブがあるが外部委託の受け皿となるのではないのか。
答 非常に重要な受け皿と考えており、各団体と協議し移行できるように行う。

問 市民が全国大会などで優秀な成績をあげた場合の表彰規程など決めているか。
答 登米市市民栄誉賞規則が制定されているが、表彰が行われたことはない。



問要支援者マニュアルの具体的支援を

答支援方法など周知・啓発していく



工藤淳子 議員

問 「避難行動要支援者マニュアル」が作成されているが、要支援者に対し、誰が、どのように支援するのが具体的にない。地域の防災

組織の中でも、災害時にもどのように支援するのか議論されていない。5年度の見直しで具体的に明記する必要があるのでは。
答 改正したマニュアルは、行政區長、自主防災組織、民生委員など地域の避難関係者へ配布するとともに、支援方法や災害への備えなど周知・啓発を行っていく。



問米山相撲場の整備について

答利用団体の意見参考にし修繕行う



武田節夫 議員

問 郷土が産んだ名力士、第3代横綱丸山権太左衛門の顕彰と相撲の普及、発展を図るため、平成19年に米山町相撲協会が青少年の健全育成と生涯スポーツの推進を目的に相撲場を設置したが、老朽化が進み整備する必要がある。県内の高校の各種大会が行われていることもあり、県の施設とすることもあり、市の施設とするよう働きかけを。
答 令和元年、県担当課に問い合わせたところ、整備などの計画はないとの回答だった。

問 属し活躍している。市として相撲場の整備についてクラウドファンディングに取組む必要があると思うが。
答 今後大規模な改修が必要なときは、クラウドファンディングの活用も検討し、適切な維持管理に努めていく。

問 穀物価格の上昇などにより、畜産農家は経営危機に追い込まれている。市として生産者に対し、独自の補助金を出すとともに、自給率向上のため、子実用とうもろこし栽培を進めるべきと思うが。
答 本年1月から飼料価格高騰支援事業を実施している。子実用とうもろこし栽培は農協と連携し重視する。



第3代横綱丸山権太左衛門



米山相撲場



5年度見直しが予定されている、避難行動要支援者支援マニュアル

定期議会

特別委員会

常任委員会

代表質問

一般質問

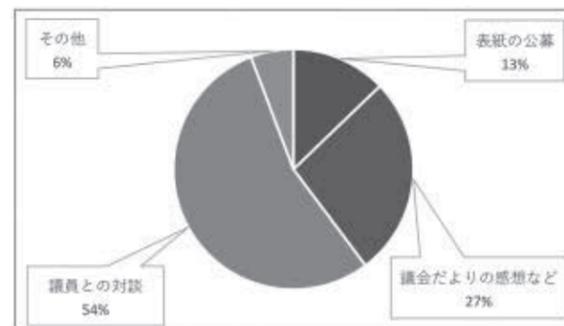
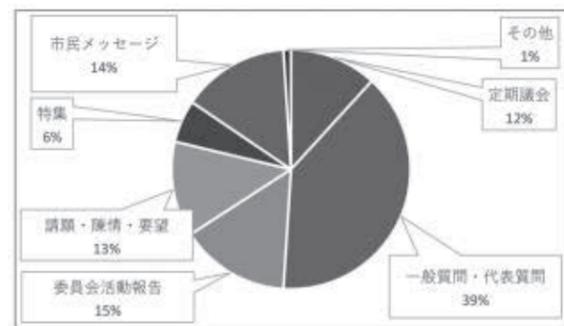
市民メッセージ

問 助成を行う自治体が広がっている。山形市では聴力検査が実施されるようになった。本市で助成と合わせてできないか。
答 国の動向や他市の動向を注視していく。「健康診断」での「聴力検査」は、聴力検査を実施している検診機関がないので難しい。

問 宮城県出身の力士7人のうち登米、栗原出身が3人、呼出しの方が地元出身で時津風部屋に所属している。市として相撲場の整備についてクラウドファンディングに取組む必要があると思うが。
答 今後大規模な改修が必要なときは、クラウドファンディングの活用も検討し、適切な維持管理に努めていく。

問 飼料価格高騰緊急対策について
ウクライナ情勢に伴

リニューアルに向けた とめ市議会だよりに関するアンケート ご協力ありがとうございました

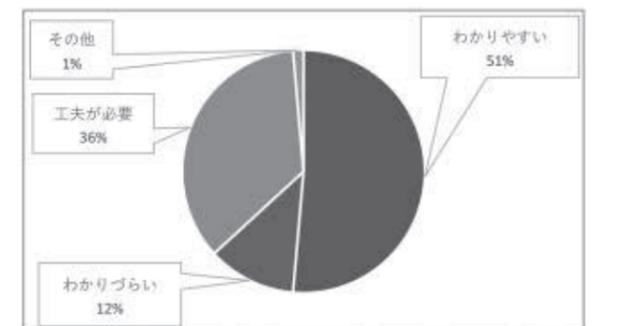


広報広聴委員会では、5年3月、読者の皆さんに親しまれる紙面になるようご意見をお聞きする機会として、「議会だよりに関するアンケート」を実施しました。

ファクシミリやGoogleフォームを中心に、157人の皆さんから多くのご意見をいただきました。

内容を把握したうえで、リニューアルに向けた参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。



議会の動き

1月	10日(火) 議会改革推進会議	15日(水) 広報広聴委員会
	11日(水) 議会運営委員会	21日(火) 議会改革推進会議
	12日(木) 教育民生常任委員会	22日(水) 総務企画常任委員会
	16日(月) 招集議会	27日(月) 議会改革推進会議
	17日(火) 宮城・岩手県際市町議会議長会要望活動(復興庁ほか)	28日(火) 総務企画常任委員会
	20日(金) 広報広聴委員会	28日(火) 教育民生常任委員会
	23日(月) 議会運営委員会行政視察(大阪府八尾市、愛知県岩倉市)	28日(火) 産業建設常任委員会
	26日(木) 総務企画常任委員会	
	27日(金) 議会改革推進会議	
	30日(月) 宮城県市議会議長会春季定期総会	
2月	31日(火) 福島県西会津町行政視察で来庁	
	1日(水) 教育民生常任委員会	
	2日(木) 2月定期議会(3月10日)	
	7日(火) 広報広聴委員会	
	8日(水) 教育民生常任委員会	
	9日(木) 議会改革推進会議	
	10日(金) 議会運営委員会	
	13日(月) 総務企画常任委員会	
	14日(火) 産業建設常任委員会	
		19日(日) 議会モニターとの意見交換会
		20日(月) 議会運営委員会
		22日(水) 総務企画常任委員会
		23日(木) 産業建設常任委員会
		24日(金) 特別議会
		27日(月) 議会改革推進会議
		29日(水) 広報広聴委員会
3月		1日(水) 議会改革推進会議
		2日(木) 教育民生常任委員会
		3日(金) 総務企画常任委員会
		6日(月) 議会運営委員会
		7日(火) 議会改革推進会議
		8日(水) 総務企画常任委員会
		9日(木) ICT推進検討会
		10日(金) 議会改革推進会議
		16日(木) 産業建設常任委員会
		17日(金) 第11回栗原市議会・一関市議会・登米市議会議員交流会

あなたの声 市民 メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

登米市にお願い!!



北條 茂雄さん (登米)

年が明け、コロナによる規制もだいぶ緩和され、マスクの着用も本人の判断となりました。そんな中、一方で食料品の値上げが続き、さらには少子化問題その他沢山の暗い話題が多い中、侍ジャパンの世界一奪還で国中が盛り上がりました。例年よりも早く桜が開花し、私達の地域はいよいよ田植で田んぼがにぎやかになるうとしています。

また、5月からは、コロナが5類扱いになり、いつもと変わらぬ日常が戻って来ます。ぜひ登米市にはコロナ前というよりも東日本大震災前の収容力のある町になったらいいなと思います。

観光はもとより、一次産業を始め、すべての産業が一体感をもって、いろんなものを発信して震災前にも増して人が集まって来るような、そんなまちづくりを期待したいと思います。

家族で誓い合う、ポイ捨て、撲滅



及川三男さん (中田)

今年も稲作作業が始められている。北上川から汲み上げる農業用水が、勢い良く用水堀を流れていく。毎年、環境を守る会が行う清掃作業では、残念なことに用水堀が、捨てられたゴミ、ペットボトル、ビンやカンまでも、淀みを覆いつくすように捨てられている光景に出会う。今年も二週連続の作業であったが毎回、肥料袋に3つ回収している。

仕事柄6町域を巡回していると、心温まる光景にも出会う。道沿いに善意で、ゴミを拾い続けている姿だ。同一人物のようである。

今回、市民メッセージの機会をいただき、古くて新しい課題の一つである、ゴミの話をさせていただきます。捨てること「捨てること」とともに市民の良心が問われている。

少子化について思うこと



高橋 慶之さん (津山)

柳津小学校が約百五十年の歴史に幕を下ろします。少子化の影響で統合となる訳ですが、母校の閉校は、事態の深刻さを印象付けるものとなりました。

改めて考えてみると、最近では元気に外で遊んでいる子ども達を見かけなくなりました。自分も三人の父親ですが一緒に近所の公園へ行っても、木製の遊具は朽ち、テープが張られて遊べない状態となっています。友達と集まり、遊ぶ場所も少なくなっているのではないのでしょうか？友と過ごした思い出は、幾つになっても残り、それが故郷を愛する気持ちにも繋がると感じます。

登米市でも子育て支援の拡充により、子ども医療費の無償化など、以前と比べ、子育てしやすい環境にあると思います。大きな取組も必要ですが、「小さなことからコツコツと」。ニーズに対応した、きめの細かい対応を期待します。



人事

人権擁護委員候補者の

推薦に同意

千葉 幸毅 氏 (東和町)

主藤 安子 氏 (東和町)

阿部 篤雄 氏 (津山町)

固定資産評価審査委員会

委員の推薦に同意

菅原 祐子 氏 (中田町)

開発 育子 氏 (迫町)

佐沼中学校3年生が議会を傍聴しました。



佐沼中学校では「ふるさと教育」に取組んでおり、その一環として、2月16日と17日、2月定期議会を傍聴しました。

あとがき

卒業から入学シーズンへと足早に過ぎる時節ですが、皆さんの周りではいかがでしたか。

数年前まで指導していたスポ少での最後の教え子たちが、高校を卒業し各方面に進むと、風の便りに聞きました。

早い子は幼稚園の頃から一緒に活動しましたが、高校卒業とは早いものです。きっと新たな門出に大きな希望を抱きながら、走り出したことと思います。

現広報広聴委員として

の務めも、今号をもって卒業です。これまでお付き合い下さったことに感謝申し上げます。筆を納めたいと思います。(曾根充敏)

広報広聴委員会

委員長	佐々木好博
副委員長	伊藤善博
委員	熊谷康信
〃	浅田琢哉
〃	遠藤真理子
〃	鈴木実
〃	永島順子
〃	首藤忠則
〃	曾根充敏

議長 関孝

議会からのお知らせ

6月定期議会

6月9日(金)開会予定

本会議はこれまでどおりインターネット中継でご覧になれます。

ご不明な点などがございましたら議会事務局までお問合せください。

議会中継がスマホで見られます。



※スマートフォンでの視聴は通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信料が高額になる場合がありますので注意してください。

議会のホームページを開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<https://www.city.tome.miyagi.jp/gikaijimu/shisejoho/gyose/shigikai/index.html>

議会のfacebookも開設しています。

登米市議会



いいね!をお願いします

